

<メッセージ> 「聖書通読の祝福」(ヘブル11:3)

序. 聖書は創造の書

「信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。」(ヘブル11:3)

1. いのちを与える

「イエスは答えられた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。』」(マタイ4:4)

「あなたがたの霊、たましい、からだ」(Iテサロニケ5:23)

「主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたがたのために天からパンを降らせる。民は外に出て行って、毎日、その日の分を集めなければならない。・・・」(出エジプト16:4)

「この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、非常に熱心にみことばを受け入れ、はたしてそのとおりかどうか、毎日聖書を調べた。それで彼らのうちの多くの人たちが信じた。」

(使徒17:11、12)

「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」(Iペテロ2:2)

2. 導きを与える

「彼女にはマリヤという姉妹がいたが、主の足もとに座って、主のことばに聞き入っていた。・・・主は答えられた。「・・・しかし、必要なことは一つだけです。・・・それが彼女から取り上げられることはありません。」(ルカ10:39、41、42)

「さて、イエスがベタニアで、ツアラアトに冒された人シモンの家におられると、ある女の人が非常に高価な香油の入った小さな壺を持って、みもとにやって来た。そして、食卓に着いておられたイエスの頭に香油を注いだ。弟子たちはこれを見て、憤慨して言った。「何のために、こんな無駄なことをするのか。この香油なら高く売れて、貧しい人たちに施しができたのに。」イエスはこれを知って彼らに言われた。「なぜこの人を困らせるのですか。わたしに良いことをしてくれました。・・・この人はこの香油をわたしのからだに注いで、わたしを埋葬する備えをしてくれたのです。」

(マタイ26:6~10、12)

3. 教えを与える

「御霊がピリポに「近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい」と言われた。そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいることが分かりますか」と言った。するとその人は、「導いてくれる人がいなければ、どうして分かるのでしょうか」と答えた。・・・彼が読んでいた聖書の箇所には、こうあった。「屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている子羊のように、彼は口を開かない。彼は卑しめられ、さばきは行われなかった。彼の時代のことを、だれが語れるだろう。彼のいのちは地上から取り去られたのである。」・・・ピリポは口を開き、この聖書の箇所から始めて、イエスの福音を彼に伝えた。・・・そして、馬車を止めるように命じた。ピリポと宦官は二人とも水の中へ降りて行き、ピリポは宦官にバプテスマを授けた。」(使徒8:29~33、35、38)

結. 私達の祈り

「私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。」(マタイ6:11)